

2022年2月吉日

湧永製薬株式会社

迅速な血中ペントラキシン 3 の測定キット開発に向けた
株式会社ペルセウスプロテオミクスとの共同研究契約締結に関するお知らせ

当社は、このたび株式会社ペルセウスプロテオミクス(東京都目黒区、代表取締役社長横川 拓哉、以下「ペルセウス社」と、血中のペントラキシン 3 (PTX3)濃度を簡易に定量・定性可能なキットの開発に係る共同研究契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

契約締結の経緯及び契約の概要

当社は、1955年の創業以来、独自素材である熟成ニンニク抽出液について研究・開発を進め、『キョーレオピン』シリーズを中心とした医薬品や健康補助食品の開発・製造・販売を手掛けて参りました。また、1970年代からは、バイオ技術を積極的に導入し、遺伝子・抗体技術を応用した試薬・体外診断用医薬品の研究開発を進めてきました。2005年以降は、米国 Luminex 社から導入した xMAP Technology を用いたヒト白血球抗原 (HLA) のタイピング試薬『WAKFlow HLA タイピング試薬』を開発・販売し、日本骨髄バンクにおけるドナー登録検査試薬として、これまでに60万人以上のドナー登録に使用されてきました。また、急性心筋梗塞の体外診断用医薬品として、高精度な免疫クロマトグラフィー技術により、全血からわずか15分で診断可能な『ラピチェック H-HABP』を販売しております。

ペルセウス社は、2008年より、培養上清やヒト血漿に含まれる PTX 3 濃度を定量する研究用途の ELISA キット『Human Pentraxin3 / TSG-14 ELISA System』を、研究者や研究機関へ提供しております。血管障害や心疾患など炎症に関する疾患において、血中の PTX 3 濃度が健常時と比べて高いことが知られており、炎症に関わる疾患や COVID-19 等の感染症における重篤化を予測するバイオマーカーとして注目されております。

本共同研究は、当社で培われた体外診断薬領域における検出技術及びペルセウス社が所有する抗ヒト PTX 3 抗体に関する知見を融合させ、ELISA キットよりも高精度で、検査が簡便な PTX 3 定量化試薬や PTX 3 の検出機器の製品化を目的としております。将来

的には心不全、敗血症などのさまざまな心血管疾患の予後を予見する体外診断用医薬品の展開を予定しており、患者さんの予後を診断可能にすることで、早期に適切な治療法を患者さんへ提供するとともに、医師の負担軽減に貢献できるものと考えております。

■PTX 3 について

PTX 3 は、白血球や血管内皮細胞に存在し、炎症部位で局所的に分泌されるタンパク質として知られています。また、感染症の初期に血中の PTX 3 が増加してウイルスなどの病原体と結合し、オプソニン化して働くことから、自然免疫における可溶性のパターン認識受容体として位置づけられています。

CRP や SAP に比べ、炎症初期に血中で上昇することが報告されており、早期に炎症の進行を予測するマーカーとしての活用が期待されています。

■株式会社ペルセウスプロテオミクス社について

ペルセウス社は、2001年の設立以来、抗体医薬品を中心とした創薬事業に注力・展開してきました。希少難治疾患への治療薬展開のために、独自の高親和性抗体取得技術として、細胞融合法の改良や効率的なファージディスプレイ法の確立といった画期的な自社技術を展開し、グローバルでの社会貢献を目指す企業です。ペルセウス社の詳細は、以下ホームページをご覧ください。

株式会社ペルセウスプロテオミクス社のホームページ

<https://www.ppmx.com/>

以 上